

私は製薬企業の薬品研究所に21年間勤めた後、2004年4月に岐阜薬科大学に赴任しました。翌年よりカルチャーアカデミー岐阜新聞・ぎふチャンの駅前プラザ教室で月1回、市民の皆さまに講義をしています。1年で12回、15年間で180回続いており、参加者数は延べで約2300人になります。講義内容は病気、薬・サプリメントの話、健康長寿、脳・眼を鍛えるトレーニングなどを行ってきました。

当初の参加者は、多い時で20人程度でしたが、少ない時は数人でした。

継続は力なり

岐阜薬科大副学長 原 英彰



その後、型どおりの一般的な話ではなく、皆さんの心に響く、生活に役に立つ、楽しい話をすることを考え実行した結果、参加者も次第に増えてきて、現在は20人弱で一定しています。一番長い方には14年間お付き合いです。ただいております。ここまで続けられたのもひとえに参加いただいたりの方々のおかげです。本当にありがたいことです。

「継続は力なり」と言いますが、続けてきたことで今まで見えなかったいろいろなものが見え、自分に足りないものが次第に分かり、自分を知るこ

とができました。講義で偉そうなことを言う以上は日々自分を律して行動しなければなりません。一回一回の講義に全力を傾けることが大切で、ただこなしていくだけでは何ら得るものはありません。日々の生活の中で一生懸命に考えて積み重ねていくことが大切です。何事も自分だけではできないことで周りの助けがあつてのことです。

今後も聞いていただける方々がいる限り、ニーズを把握して、続けたいと思います。そして周りに感謝し、自分も一緒に成長できればと思います。

+

+

+

+